

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	11名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	1	0	11

前回の改善計画

- ・紙面だけの情報収集だけでなく、利用開始前後に対面での情報共有が必要。昼礼などを利用し複数人で情報を共有できる機会を設ける。
- ・ご家族との情報共有は担当職員や計画作成担当者が中心となり行いが、全職員がご家族と積極的に関わる意識を持ち必要な時に迅速に連携が取れるようにする。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・担当がいなくても必要な情報共有を行った。職員がご家族との情報共有に関わる意識を持って必要な援助を行うことが出来た。
- ・担当職員に任せきりにすることなく、日頃より関わる意識を持って業務を行った。
- ・利用開始時や状況の変化時に、申し送りの他にも昼礼を活用して複数人で情報意見の交換を行い共有した。
- ・利用開始前後のご利用者に対して、すべての方を対面で情報共有するのは難しかった。複数人で情報を共有しながら周知していくことはできた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	7	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	1	0	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・利用開始前に情報を共有し把握することが出来た。細かな気付きも経過記録に記入し共有していた。また、挨拶や聞き取りやすい声でコミュニケーションを取るなど、ご利用者の不安を取りのぞけるよう声掛けをした。業務的な声掛けだけでなく、寄り添うような声掛けを心掛けた。
- ・サービス開始時にご本人やご家族が必要としているサービスを可能な限り提供している。初めての介護サービスとなるご家庭も多く、本人・家族共に不安に思う事が多くあると思うので、利用開始しばらくは生活リズムや嗜好等の把握に努め、ご本人に合った声掛けを模索し対応している。
- ・初回利用の関わり時、不安にならないよう笑顔や言葉かけに注意した。できるだけご本人の情報を集め、忘れないようメモをとり、スタッフ同士が話し合いを通して共有した。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・ご利用者の不安は利用開始時に関わりの中から把握することは出来たが、ご家族(介護者)の不安を把握しきれなかったこともあった。ご家族とうまく連絡がつかず、速やかに問題解決することができないことがあった。
- ・サービスを提供するご本人とはたくさん関わりを持つことが出来るが、ご家族と直接話をする機会がなかなか無い。ノートや電話でのコミュニケーションはあるが実際にどのような職員が介護にあたっているのかをご家族が知る機会が少ないように感じる。
- ・紙面上で人物像を把握していても、実際に対面すると緊張などで対応できないことがあり、あとでこう声掛けすれば良かった、こう動けば良かったと思うことが多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・初期支援の段階でご家族の役割を明確にし、できる支援を継続してもらえる環境をつくる。全職員が家族と積極的に関わる意識を持ち必要な時に迅速に連携が取れるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
2.「~したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	11名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	3	1	11

前回の改善計画

・どこでどのように暮らし最期をどのように迎えたいか等、本人のゴールを具体的に知る必要がある。職員がその情報を共有し援助へ繋げていく。
・コロナ禍でも日常の刺激になるようなアクティブ活動を提供していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・アセスメントシートを担当者が責任を持って記入し、ご本人が実現したいことを把握できるよう努めた。
・職員それぞれがご利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、気持ちや想いの把握に努めていた。しかし、最期の話は本音を語れないこともあり、なかなか考察には至れていない。最期をどのように迎えたいか口に出して言えない方もいる中で、今の時間を寄り添うことしかできないご利用者も多い。求められていくことを援助し、その中で楽しいことを提供できるよう心掛けた。
・アクティブや行事についてはコロナ禍でもできることを模索し、できる幅が広がった。毎月の行事と日々のアクティブ活動で他者との関わりや楽しみを持って頂けるように活動を提供することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	2	7	2	11
②	本人の当面の目標「~したい」がわかっていますか?	0	4	6	1	11
③	本人の当面の目標「~したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	3	1	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・定期的なモニタリングや日々のケアを通じて、ご本人に今必要な援助やこの暮らしを続けるために必要な援助を理解し、ノートやミーティング等を通じて共有し対応している。
・日々の関わりの中でご本人が好きなものや苦手な事を把握することができた。今したいことをくみ取り、どうしたら実現できるのか情報共有し、実施できるよう心掛けた。
・年を重ねていく中、できることがだんだんできなくなっていく不安を傾聴し見守り寄り添い、出来ないことを援助するよう心がけた。短い時間でも楽しんで頂くため、アクティブ活動を継続している。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・長期的な目標~最期の希望はご本人にもはっきり見えていないこともあり、すぐ実感できる短期的な目標よりも汲み取りにくい所がある。また、家庭だからできること、入所だからできることがあり、サービス形態を変えればより希望に添ったケアが可能ではないかと思う時がある。
・本人が実現したいことをできなかったことも多くあった。職員全員が全ご利用者の実現したいことを把握しているとはいえなかった。
・業務の忙しさを理由に個人と関わる時間が少なく、傾聴できなかったり関われないことがあった。目標を実現させるためのミーティングなどをできたら良かった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・お互いを知り信頼関係を築くため、新規利用者から数名を抽出し「~したい」を確認し実現に向けた取り組みを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
------------------	-----	--------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	11名
------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	3	0	11

前回の改善計画

- ・過去の生活過程を踏まえた上で現在の生活環境を知り、本人の希望(したいこと)に合わせた活動を行う。
- ・本人の気持ちに気付いたり聞き取った際は、連絡ノートやミーティングで共有し統一したケアに繋げる。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・ご本人の気持ちに寄り添うことで、初期は不信感を持った方も信頼関係を築き、本当の気持ちを伝えて下さる方が増えてきた。情報共有し統一したケアを行った。
- ・全てのご利用者において気付いた事を伝える情報は共有ノートに記載し職員周知に努めた。ご本人のニーズにおいては、限りがあるができるだけ傾聴するように努めた。
- ・気付いたこと等があった時は記録に残し情報共有を図った。ご本人の気持ちや体調の変化に気付いた時は、即座に情報共有し統一したケアに努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	5	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	1	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	6	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	11	0	0	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・必要時、昼礼やミーティングを行ったり連絡ノートなどでご本人の変化を共有できていた。何かあった場合は一人で決断せず、他の職員へ確認相談し、統一ケアができるよう努めた。
- ・体調変化があった際は状況に応じた対応を行っている。ご本人との会話の中で表情や様子を観察し、変化に気付けるように心掛けた。
- ・ご本人に合わせた支援ができていないか不安な時は、必ず他の職員に相談し実行に移した。特に重要なことはミーティングで検討している。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・「以前の暮らし方」10個を全ご利用者把握できなかった。また、ご家族やキーパーソンとの関わりで共有できないことがあり、ご本人の生活環境を把握できないこともあった。
- ・限られた関わりの中で全てのご利用者についてこれまでの生活歴を把握できているとは言えない。ご利用者の変化時に職員間で情報共有はできても、環境やご家族の事情など様々な理由からすぐに対応に動けないことがある。仕方ない部分もあるが、普段の関わりの中でご家族の理解を深めていく必要があると感じる。
- ・以前の生活の把握よりも、小規模を利用したのちの生活状況の把握を優先してしまっている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・ご本人との信頼関係を築くため積極的に話をする機会を設け、好きな事や嫌いなこと、以前の暮らし方などをアセスメントする。ご本人の言葉からだけでなく、表情などからも気持ちや変化に気付けるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月14日(金)10:00~12:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	5	1	11

前回の改善計画

- ・小規模職員が関わっていない時間に誰とどのように生活しているかを具体的に把握する。
- ・本人が地域でどのように暮らしていきたいかを知る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・具体的に把握できる場合もあれば、曖昧なこともあった。プライバシーな面でもあることから具体的に聞けず、その為には信頼関係が必要不可欠であると再認識した。
- ・ご利用者の在宅時の様子を会話の中や職員間での情報共有で把握することができた。
- ・地域での暮らしを理解するためには、ご本人やご家族との関わりを更に密にする時間をつくる必要がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	3	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	2	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	2	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	6	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の方々との関わりは少なくなってきたが、挨拶をするなどして関わりを持てるように努めた。
- ・ご家族に対してはできるだけ情報をノートや電話連絡などで伝えている。訪問の多いご利用者は関われる回数が多いので、どのような生活をされているのか分かりやすい。また、ご家族が居られる方は話の中で生活スタイルが見えるので、できるだけ関わるよう努めた。
- ・民生委員の方から声を掛けてもらうことがあり、できる範囲で情報共有し合い関係性を作っている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・近年引っ越され馴染みのない地域で生活をされている方もおられる。地域との関わりが少ない中での社会資源についての把握を完璧にはできていない。
- ・職員が関わっていない時間の過ごし方についての把握が不十分だった。キーパーソンが高齢の方もおり、今後必要になるどのような社会資源が本人の周囲にあるのか理解できていない。
- ・民生委員の方に、家族を通さずどこまで話していいのか分からず難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・朝夕訪問の際、今日の予定や今日どのように過ごしたかを会話の中からお聞きする。日常を知ることでその方が地域の中でどのように生活しているかを把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
------------------	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11名
----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	3	7	1	0	11

前回の改善計画

- ・日々の関わりから小さな変化に気付けるよう言動や表情を注視し、希望や状況に合わせた支援を今後も継続する。
- ・状態悪化した場合の支援だけでなく好転した場合の支援も評価し適宜見直しを行う。ただし、評価の結果サービスの調整が可能となった場合でも利用者(家族)の生活スタイルに影響がおよび混乱に繋がると考えられる場合はどのように調整していくかも慎重に検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・細やかな気づきであっても記録をし、職員で共有し、状態変化に気付けるよう努めた。好転した際に職員間で評価し見直しを行った。
- ・日々の関わりから体調の変化に気づき、ご家族に助言できた。どんなに小さいことでもご家族に報告するよう努め、ご家族の意向にもできる限り対応した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	7	2	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	6	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	8	0	0	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・状態を日々把握し、昨年度より強みに着目した支援ができたと思う。日々の気づきは連絡ノートで共有しているが、月一回のミーティング時に再認識が必要である場合はその時にも共有し、再認識している。
- ・その時のニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」を適切に提供できるよう努めた。現状に合わせたニーズをくみ取り、適切かどうか情報共有し、柔軟な支援が実施出来ている。訪問だけに偏らず、バランスよく援助支援できていると思う。ご本人の状態ニーズに合わせた入浴順や食事の時間は適切だと思う。
- ・ふれあい収集や宅食サービス等地域の資源を活用して支援できている。
- ・サービスのもれがない様にチェックリストを活用している。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・社会資源にどのようなものがあるのか把握しきれていない。強みに着目できたといってもやはり行うのが難しい面ばかり着目してしまうこともあった。
- ・変化に気付いても支援に活かされていない。共有不足、その場で終わっている。
- ・金銭的な理由や、ご本人の思いとご家族の思いがかみ合わず、最適ではないサービス提供になってしまう部分がある。どのように社会資源を活用していくか、本人家族の理解を得るかが難しい。
- ・サービス変更時にチェックすることが多く、時間がかかることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・気づきをそのままにせず、発信共有し支援に繋げる。また、他職員の気づきを学び、自分の援助に活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
------------------	-----	--------------------------

6. 連携・協働	メンバー	11名
----------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	3	1	4	11

前回の改善計画

- ・担当者会議に担当職員(業務の調整ができない場合は他の職員)が出席し、他事業所とどのように連携しているかを再認識する。
- ・今後感染症が収束しイベントが開催されたら積極的に参加していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・出席できる際は職員が出席し、他事業所との連携を認識することができた。イベントなどはコロナ感染症の影響のため、実施出来なかった。
- ・会議資料があるため開催されていることは分かるが、前年度と比較してどのように変わったのか、コロナ禍でイベント参加がどうなっているのかが分からず評価が難しい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	4	1	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	1	7	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	0	3	8	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	11	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・担当者会議に参加することで、他事業所との連携も行うことができた。担当者会議に参加していない職員もノートや申し送りで情報共有や他事業所との連携行うことができた。
- ・実習生を受け入れ交流し、職員として学ぶこともあった。
- ・担当者会議など他事業所と関わる場があれば今後も参加したい。ご家族との連絡ノートを通じて様々な情報を得ることはできている。不明な点があれば他事業所に問い合わせている。
- ・担当者会議には参加できていないが、初回の訪問に同行し、サービス内容を把握し他職員に伝達できている。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍で職員や登録利用者以外が事業所に入ることができず、イベントなどはできなかった。
- ・感染対策のためなかなか参加できていないので考える必要がある。
- ・出席を予定していても感染対策に応じた出勤調整等で、会議に出席することができなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・担当者会議に出席し、他事業所とどのように連携しているかを再認識する。担当職員だけでなく、職員全体が他事業所との連携を認識できるよう、情報共有を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
------------------	-----	--------------------------

7. 運営	メンバー	11名
-------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	2	5	11

前回の改善計画

・運営推進会議が開催されるようになったら計画的に職員が参加できるようにし、運営推進会議の役割や地域との協働について学ぶ。

前回の改善計画に対する取組み結果

・出席を予定していても中止となり参加できなかった。機会があれば参加したい。
 ・中止になることも多かったが、開催できた際は職員も参加し地域の方々や外部の方々に関わり学ぶことができた。
 ・介護職員の立場として利用者対応の変更についてできる限り柔軟に対応していると思うが、具体的に地域とどのような連携を取っているのか理解できていないことが多かった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	6	3	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	2	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	6	2	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・意見や苦情があった場合はすぐに事業所に伝え情報共有した。職員間で把握し運営に活かしている。また、ミーティング等で改めて対策を練り、統一したケアを行った。
 ・広報を月に1回作成し、事業所の様子を家族や外部に伝えることができている。
 ・事業所内での業務改善や、ご利用者への援助について相談し改善出来るように努めた。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・立地的に住民がいないのとコロナ禍という事もあり、地域との取り組みは行えず。地域において必要な拠点として取り組めたか分からない。
 ・コロナ禍で地域との関わりが無く、協働して取り組むのは難しかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・運営推進会議への職員参加は継続。運営推進会議に参加した職員は地域との関わりや役割を参加しなかった職員に伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
------------------	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	11名
-----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	7	0	0	11

前回の改善計画

事故報告書(ヒヤリハット)の内容及び改善策を分析し、改善策が適切に機能されているかを確認する。不足がある場合は追加や修正を行い再発防止に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・事故報告書、ヒヤリハットの内容及び改善策についてなるべく多くの職員で話し合い、期限を決めて対応に取り組んでいる。ただし、ヒヤリハットがあっても挙げられていないこともあった。速やかに挙げ、職員全員が把握する仕組みづくりが必要。
- ・事故報告書を分析し改善策が適切であるか確認した上、ミーティングなどで不足であった場合修正を行った。2週間後評価を行い、再発防止に努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	3	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	2	6	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	2	0	11

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・職員がそれぞれ研修を行い、伝える側、学ぶ側として質の向上に努めることができた。職場外の研修があれば積極的に参加することができた。 コロナ禍だったがオンラインで研修できている。
- ・再発防止について、日々の業務の中でのヒヤリハットや事故について話し合いの場を設け、期限を設定して評価している。リスクマネジメントの意識は常に持っているよう心掛けている。
- ・リスクの重要性を常に意識し、納得するまで確認し他の職員にも協力を求め対応した。
- ・事故報告書に上がったものの再発を防止するため、追加や修正を行いそのつど情報を共有し周知に努めてきた。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍ということもあるが地域との関わりがなかなか持てず、地域連絡会にもほかの地域での取り組みにも参加できなかった。
- ・ヒューマンエラーが多い。
- ・ヒヤリハットの周知、改善策の分析ができていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・事故報告書だけでなくヒヤリハットの改善策についても評価分析し事故防止につなげる。ヒヤリハットの記入について職員間で共有し、事故を未然に防ぐ。
- ・事故報告書の改善策を精査し、改善策が適切に機能しているかを確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月14日(金)10:00~12:00
9. 人権・プライバシー	メンバー	11名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	3	8	0	0	11

前回の改善計画

- ・机上、棚などの整頓を行い、書類管理の扱いを適正に行っていく。
- ・日々の介護のなかで身体拘束やプライバシーについて考え、ミーティングなどの研修で学習する。
- ・職員の会話から個人情報をもれないよう一層の配慮をする。利用者が過ごしている共有スペースで職員同士の会話が始まりそうな場合は、別の場所で話をするよう指摘し合える関係性を構築し個々の意識も向上させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・プライバシーについて今まで以上に気を付けるようになり、特に外部への持ち出しは注意した。
- ・申し送りの際は別の場所で行うことを心掛けたが、共有スペースで行ってしまうこともあった。
- ・異動してきてから個人情報やプライバシー、職員の私語や会話内容について話し合いの場が多く持たれており、職員の意識がまとまっていると感じた。少しの気のゆるみで崩れてしまう部分があるので今後も一人一人の意識が下がらないような空気作りが必要だと思う。
- ・会話の中から個人情報が洩れないよう配慮し利用者の前では申し送りをしないよう心掛けたが、職員の会話に無意識に個人情報が入ることもあり今後も配慮が必要。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
②	虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	1	10	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	1	1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	8	0	0	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・人権、プライバシーの研修に参加したこともあり重要性は理解している。業務に不慣れなこともあり、メモにして個人情報を持ち歩いているが、名前は特定できないようにしている。援助内容の変更、追加も記入しているが、特定できないよう気を付けている。
- ・訪問時間等記載してあるメモを持ち出すときは、名前を伏字にするなどして個人情報が洩れないようにしている。外部へ持ち出す際は肌身離さず持っている。
- ・虐待はもちろん身体拘束についても広義においてはセンサー使用等が含まれることもあるが、危険度、他に策が無いかな等しっかり検討しながらご家族の理解も得て拘束にならないよう対応している。
- ・入浴については特にプライバシーが守られていると思う。職員のプライバシー保護も必要。自分のこと、他職員のことを聞いてくることもあるので注意が必要。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・スピーチロックをしてしまうことがある。
- ・申し送り時や日常の会話時に声が大きくなり、ご利用者に聞こえてしまう声量になることもあった。
- ・日々十分に気を付けているが、ご利用者との共有の空間はもちろんあるため会話などが聞こえてしまう場合がどうしてもある。プライバシーが傷つけられるような会話はしないよう努めているが、フロアを見守りしながらの業務上の申し送り等、配慮が必要と思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・職員間での情報共有は場所や時間に気を付ける。日頃より職員同士で声を掛けあい適正な管理、対応をしていく。
- ・タブレットなど訪問等で外部へ持ち出す個人情報の管理を徹底する為に定期的に研修を行う。